

城東区地域福祉プラン（令和4年度～6年度）

— 地域福祉の増進と地域共生社会の実現のために —

現 状

- ・新型コロナウイルスのまん延、生活困窮者の増加、地域のつながりの希薄化など地域福祉を取り巻く状況が大きく変化



基本的な考え方

- ・城東区地域福祉ビジョンに掲げる3つの基本的な考え方を踏襲しつつ、社会状況の変化に対応
 - ①校区のつながりを基礎にした取り組み
 - ②すべての区民・団体・事業所・区役所が協働
 - ③支援を必要とする人々を地域で支える共生のまちづくり
- ・上記に加え、SDGsやコロナ禍における地域福祉のあり方を示すものとして策定し、取組期間は令和4年4月～令和7年3月とする。

めざす姿

地域共生社会の実現



高 齢者が最期まで安心して暮らせるまちづくり

障 がい者が豊かな人生を過ごせるまちづくり

子 どもが安全安心に暮らせるまちづくり



ウィズコロナ・アフターコロナの時代を見すえた新たな活動、地域に応じたネットワークづくり

めざす姿

高齢者が最期まで安心して暮らせるまち

現 状

- ・高齢者の増加、特に75歳以上の後期高齢者数が増加傾向
- ・単身世帯の高齢者数も増加
- ・URや市営住宅、古くからの住宅が集まる地域においては高い高齢化率
- ・要介護認定率は24区中16番目と若干低い

方 向 性

- ・要介護者の増加や孤立死を防ぐためのネットワークづくり
- ・高齢者の健康保持・介護予防、認知症対策等の強化、多様な主体の協働による支援
- ・地域の特性に応じた取り組みの推進

具体的取組

健康の保持・介護予防対策の強化

認知症対策の強化

要介護者の見守りと災害時要援護者支援の強化

地域包括ケアシステムの充実強化

めざす姿

障がい者が豊かな人生を過ごせるまち

現 状

- ・各種手帳（身体障がい者手帳、療育手帳、精神保健福祉手帳）の所持者は年々増加し、1万人を超えている。
- ・障がい福祉サービスを提供する事業者も大きく増加（200か所以上）

方 向 性

- ・障がい者個々人に合ったサービスを提供できるような事業所の工夫や、それらの情報をひとり一人に届けられる仕組みづくり
- ・障がい者の自立生活や、共同生活ができる施設など、多様な生き方を選択できる取り組み
- ・障がい者が搾取や差別を受けないような相談・見守り体制の構築

具体的取組

福祉避難所運営マニュアルの策定

障がい者スポーツの振興

障がい者の権利擁護にかかる研修会等の実施

障がい者サービス事業者ガイドブックの作成

めざす姿

子どもが安全・安心に暮らせるまち

現 状

- ・就学前児童が近年、大きく増加し、全区で最も多い数
- ・子育て支援室での相談件数増加
- ・児童やその家庭を取り巻く環境が複雑・多様化
- ・ヤングケアラー等これまでにない概念の課題も

方 向 性

- ・速やかに、かつ的確に対応する教育分野や福祉分野などの縦割りを超えた関係機関の連携
- ・子どもたちを支援する地域のネットワークを構築し、社会全体で対応

具体的取組

民生委員・児童委員・主任児童委員を中心とした地域全体での見守り

保育所、幼稚園、学校（こどもサポートネット）など保育・教育の現場での気づき

子育てサロン、つどいの広場での地域と児童・保護者とのつながり

こども食堂やフリースクール等との新たな連携・ネットワークづくり

めざす姿

ウイズコロナ・アフターコロナの時代に応じた新たな地域福祉・ネットワークの構築

現 状

- ・経済状況の悪化、失業など、貧困に苦しむ世帯が増加
- ・生活困窮者自立支援制度の相談件数や住居確保給付金決定件数が大きく増加
- ・新型コロナウイルス感染拡大により、対面での地域福祉活動が困難化

方 向 性

- ・複雑化する課題に対応するため、地域住民、関係機関の連携強化
- ・コロナ禍における貧困の問題やヤングケアラーなど、新たな福祉課題への取り組み
- ・新たな生活様式に対応した地域福祉活動の推進

具体的取組

社会的なつながりが希薄な世帯支援の強化、「気にかける」地域づくりの推進

総合的な相談支援体制強化のための研修会等開催

地域福祉活動参加促進の啓発（新たな担い手の発掘）

関係機関間等の課題認識の共有・連携の場づくり